

水稲を中心に+園芸作物で経営の発展を目指す

能登の農地を守る営農活動

北能産業株式会社（能登町）

水稲以外の主な園芸作物等



※ イラストはイメージ

園芸作物導入の経緯等

- ◆ 後継者のUターンを機に、2013年、農業分野に参入。
- ◆ 地域の水田農業を継承し、農閑期の所得確保のためサトイモの栽培・加工にも取り組む。
- ◆ 現在の経営規模は、水稲37ha、サトイモ2.2ha、育苗ハウス2棟でぶどうを栽培。
- ◆ 主な労働力は、従業員が5名、農繁期に2名をパート雇用。



代表取締役 福池 功

これまでの課題に対する対応

- ◆ 地域の水田を守るために、農業部門を設立し営農を始めたが、年々耕作面積が増加したことから、農閑期の作業と所得を確保するためサトイモ栽培を開始した。
- ◆ サトイモは連作できないことから、翌年には水田に戻すが、このことが、地元を離れている農地の所有者にとって、「いつでも戻って米を作れる」という安心感に繋がっている。
- ◆ 石川県内にはサトイモの産地が少なく、生鮮の他、一時加工品（皮むき処理をしたもの）の需要が多いため、皮むき機や真空パックができる機器を整備し、農閑期の所得を確保している。



さといも収穫作業



さといも選別作業



さといも

今後の展望等

- ◆ 実需者からは、「見た目」にもこだわった加工品の要望が多いので、様々なニーズに対応した商品開発を行っていきたい。
- ◆ 地域の水田を守るため、当社が作成した栽培マニュアルを地域の稲作農家に広め、農閑期の所得確保に貢献したい。



さといも加工品

（令和4年2月）